

# まちづくり ニュース

ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

289号

2026年6月4日

常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

## — 都心低空飛行問題について —

### ○ 逆境の中でも続く運動

高市自民の圧勝で、折角育ちつつあった羽田問題の検討議員連盟が24人から13人になってしまいましたが、長妻議員を始めとして運動はしっかり継続しています。多くの議員がSNSで誹謗中傷にさらされた結果のようで、今週刊文春でも問題にされています。SNSを信じて情報を操作された人は反省するべきでしょう。

### ○ 国立建築紛争のアーカイブ 完成を祝う会

5月24日(日)国立市の駅前市民プラザで、大西信也氏が詳細にまとめた東京海上跡地をめぐる建築紛争の膨大な記録が完成したのを祝してささやかな会合がありました。龍谷大学の牛尾教授の講演もありました。

地元の市民運動に関わる人々が普段から地域の問題に関心を持ち続けているからこそその大々的な建築紛争だったことを実感しました。

常盤台は国立の影響を受け、国立が勝ち得た景観利益を常盤台住民も得ることができました。

「景観権」に発展させられなかったのは残念でしたが「景観」は大切な「環境」のひとつです。

### ○ オール板橋などの平和行進

5月31日(日)「オール板橋」と言う団体の呼びかけで、常盤台公園から大山まで憲法改悪反対などのプラカードを持って100名余りの人達がデモ行進しました。国会前ではさすがに危機感を持った若い人達がペンライトデモを行っているそうです。臆病な日本人も意思表示できるようになるでしょうか。

### ○ マーマレード完売しました

5月10日(日)花づくりの会のマーマレードを販売しました。今年は注文を間違えてやや大きめの瓶になってしまったので800円をお願いしました。数も少なく、常連の方が殆どで2時過ぎには完売してしまいました。ご協力ありがとうございました。売り上げは大切にに使わせて頂きます。

保存料も無しなので冷蔵庫で保管して下さい。ようお願いします。

### ○ 中央図書館跡地について 土木課との話し合い

5月22日(木)旧中央図書館跡地について常盤台の景観を守る会数人で土木課と面談し、住民としての希望を伝えて来ました。

あの場所がどういういきさつで公園から切り離されて第一種低層住宅専用地域となったのかを調べて貰ったところ、

昭和12年 常盤台公園告示

昭和45年 図書館オープン

昭和48年 用途地域4つから8つに変更

平成8年 用途地域が8つから12に

(この時現在の用途地域になる。プールの頃がいつか不明。今の建築は既存不適格の状態)

と説明を受けました。

私たちの希望として、図書返却の窓口・多目的な集会施設を設けること、などを述べて来ました

### ○ 跡地活用について

オープンハウス形式で説明会があります

6月5日(金) 13:00~19:00

6月6日(土) 10:00~15:00

場所は旧図書館の正門前にテントを貼って行うそうです。申し込み不要。

## お店紹介(7)

### ビストロ・ラ・ノブティック

第五回で紹介したパティスリー・ラ・ノブティックの姉妹店で、このお店のデザートのお菓子はみなノブティックの洋菓子です。

お店にあるケーキでお茶すると九〇〇円でコーヒーも飲めます。ノブティックのケーキを持ち込んで良いとのこと。コーヒーは下赤塚のお店で焙煎する物で美味しく、量も充分楽しめます。

北口では唯一のフレンチの料理店で二〇一四年に開店、それ以来務めている酒巻料理長とスタッフ(店長?)の佐藤さんに答えて頂きました。酒巻さんはノブティックの日高さんとは専門学校以来の知己だそうです。

お店は最大二二名の席があり、十三名以上なら貸し切りもできます。ディナーは去年から予約無しでも受け入れてくれます。残念なのは自慢のビーフストロガノフが肉の値段の高騰で出せなくなったことです。鹿肉のよくなジビエも今はラムだけとなりました。地域に根付くようなお店を目指しているそうですが、色々な努力・工夫が感じられ、常連客も増えて目的は達せているようです。

定休日は水曜日と第二・第四火曜日、第一・第三火曜日はランチのみ。ティータイムは一時半〜四時、ランチに出たコーヒーに満足したので、友達とティータイムにお茶しようと思った。ディナーも本格的なフレンチです。良いお店に持続して貰うには客も地元のお店を育てないとい...

## 「樹冠被覆率」という考え

Sさんが「樹冠被覆率」という言葉についての文章を見つけて来ました。ぜひ知って欲しい言葉なので、一部を紹介します。外国の道に比べて日本の道は、整備されていても「歩きたくない」ことの指摘に続いての文です。

「この違いを生んでいるのが、樹冠被覆率という指標です。日本ではほとんど測定されていない、都市の見えない資産です。緑地率があっても、それは日陰を作らないような適当な草木でも、はたまた砂場であっても公園は緑地として扱われたりします。

しかし樹冠被覆率とは、上空から見た時に樹木の葉が覆う面積の割合を指します。英語ではTree Canopy Coverと呼ばれ、欧米では都市計画の重要指標として扱われています。WHO(世界保健機関)は都市の樹冠被覆率30%以上を推奨しており、多くの欧米都市がこの数値を目標に掲げています。」

調べてみると樹冠被覆率という言葉は、気候変動に悩まされている私たちにとって最も重大な意味を持つことがわかりました。

板橋区の樹冠被覆率は2022年の調査結果では二十三区中十位で8%、ほぼ平均です。決して緑豊かではありません。

常盤台も比較的に緑が多いと言われているのですが、前述のように欧米都市では30%を指しているのですからその差は歴然としています。個人の庭から樹木が激減したことを重く見て、街路樹などを充実させ、1度でも2度も気温を低くしたいものです。

## 常盤台公園のはなづくり

今年も昨年並み、あるいはそれ以上の暑さが予想されているので、6月の花苗の支給は辞退しました。

図書館跡地についてもまだ具体的なことが決定していないようなので、チューリップの植え場所も考え中です。

今咲いている黄色い花は、ビオウヤナギとキンシバイです。似ていますがビオウヤナギのほうが雄薬がヒゲのように突き出ています。

マーマレードも皆さんのご協力で売り切れしました。何度もお願ひしていますが、砂糖のみで煮ていますので暑さにも弱いようです。特に最近の酷暑では平常の保管は変色などの心配がありますので、冷蔵庫での保管をよろしく願ひします。

公園の樹木が以前より減っているような気がします。木陰を伝って移動できたのが、カンカン照りの広場を歩く状態が増えています。

ツツジの上を這い回るヤブカラシを引きずり下ろしながらふと考えました。もしかしてヤブカラシは強烈な太陽光線からツツジを守っているのかも知れない...と。

